

九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

07
2017 Jul.
vol.107

【特集】

共創学部 (設置申請中) 2018年4月スタート

世界を共に創るために

インタビューシリーズ 九大人

国文学研究資料館長 ロバート キャンベル



歴史散策

KYUDAI HISTORY STROLL

15 九州帝国大学農学部門

箱崎の地に工科大学に引き続き農科大学をつくる動きは、1919(大正8)年4月の帝国大学令改正施行に伴い、農学部の設立という形で結実しました。その用地は元々の工学部キャンパスの北隣に確保されており、後に工・農両学部の間に理学部の施設が林立したため、両キャンパスは一体化しましたが、工学部とは異なった東西に延びる大通りと独自の表門・通用門を持っていました。その事実を現在に伝えているのが、1922(大正11)年に完成した農学部門です。花崗岩で作られた重厚なたたずまいは、正門に勝るとも劣らない威厳と風格を今に伝えています。

市原猛志(大学文書館 協力研究員)



現在の農学部門。設計は初期工学部施設群と同じく倉田謙が担当。

目次

34	33	31	27	26	25	20	19	17	15	11	07	02		
												【特集】 共創学部(設置申請中) 2018年4月スタート 世界を共に創るために		
												インタビューシリーズ 九大人 国文学研究資料館長 ロバート・キャンベル		
									Front Runner 大学院芸術工学研究院准教授 上岡 玲子					
									記者会見レポート 水泳部 躍動					
									KYUDAI SPECIAL TOPICS 受賞のお知らせ			KYUDAI TOPICS		
									KYUDAI TOPICS					
									MUSEUM REPORT					
									Information					

表紙について

重なり合うさまざまな色と表情。九大生がモデルとして登場する「共創学部(設置申請中)」のキービジュアルです。専門性や国籍を超えて分野を横断するという学部の方針から、文学部・医学部・工学部・21世紀プログラム、さらにアメリカ・中国・フランスからの留学生を加えて、多彩多様なキャスティングとなりました。一人一人の個性ある学生をそれぞれ一色で表し、その人々が重なることで新しい色が生まれる。枠を超えて、力を発揮することで想像もつかないような成果が生まれる。そんな新たな可能性への期待が込められています。

■編集・発行:九州大学広報室 〒819-0395福岡市西区元岡744

■TEL:092-802-2130 ■FAX:092-802-2139

■E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

■Webサイト:<http://www.kyushu-u.ac.jp/>

■印刷:株式会社ミドリ印刷 ■編集協力・取材:株式会社チカラ

■撮影:岡本正人、加来和博、中西ゆき乃、平川雄一郎

■デザイン:才原貴生(Office Chameleon)

◎お読みになつてのご感想やご意見をお待ちしています。

◎本誌記事を転載する場合は、事前に九州大学広報室までご連絡願います。

◎「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読みいただくことができます。

◎次号は、2017年10月発行予定です。



特集

共創学部（設置申請中） 2018年4月スタート

世界を共に創るために

人類は今、歴史上かつてないほど大きな変化の時代に生きています。これは急激に進む科学技術の進歩や、グローバル化の進展などの影響で、ヒトを含む生命や社会、国や地域、そして地球環境の「在り方」が、大きく変動していることに由来します。この変化は、人工知能（AI）やIoTの活用など、人類に新しい可能性を拓く一方で、大規模な地球変動、生物多様性の減少、宗教・民族対立、テロ、越境犯罪、

世界規模での感染症の流行、貧困・格差、エネルギー資源問題、食糧問題、生命倫理など、様々な問題を引き起こしています。

これらの問題の多くは、種々の要因が複雑に絡まりあって生じているために、今までの学問体系のどれか一つだけを使って解決することは、極めて困難です。今こそ、これまで人類が積み上げてきた様々な学知を適切に組み合わせ、言語や文化、価値観、歴史、専門知識などが異なる人々が共に力を合わせ、我々が直面している課題を解決し、新たな未来を切り開くことが求められています。

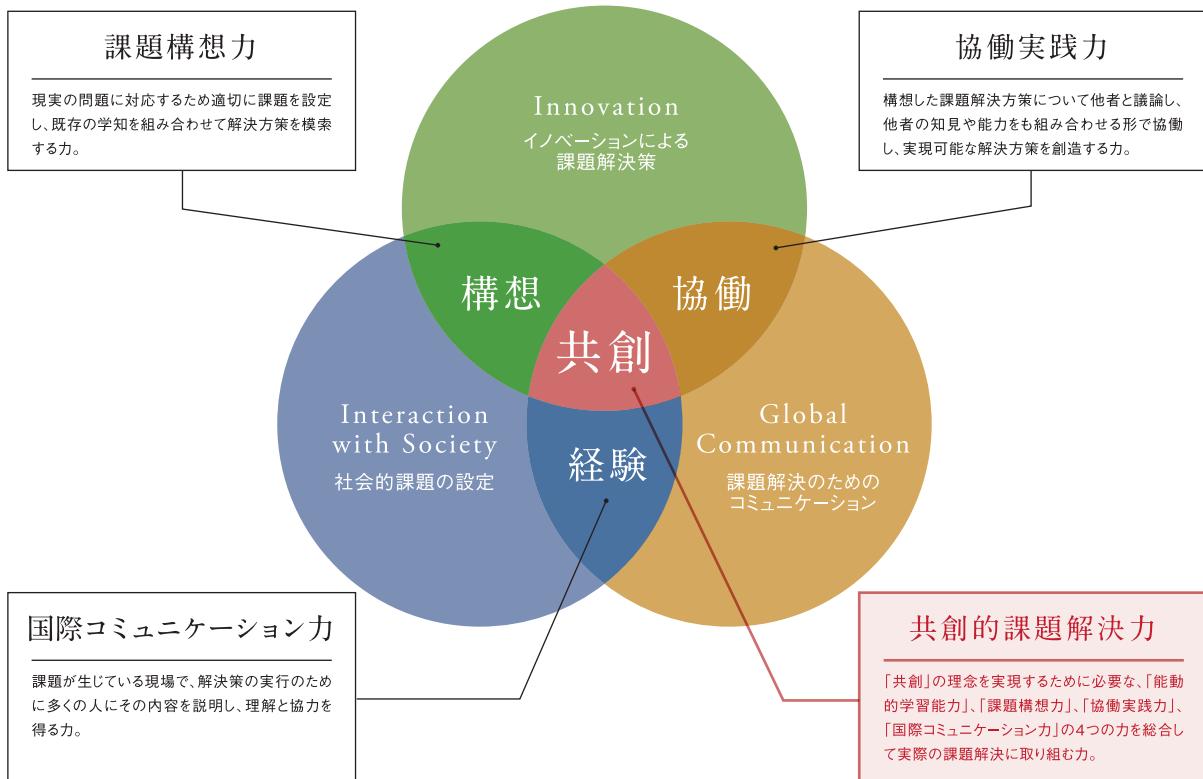
九州大学共創学部は、従来の学問的方法論のトレーニングを中心とした人材養成ではなく、今、世界が直面している諸課題を解決できる、新たな高度人材養成をおこなうことを目的として設立されます。共創学部では、みなさんが必要とする専門性を身につけるだけではなく、異なるバックグラウンドを持つ人たちとコミュニケーションを取って、互いに認め合い、切磋琢磨し、協働して、解を見つけ出すプロセスも学びます。

共創学部で共に学び、高い専門性と、違いを乗り越えられる高度なコミュニケーション能力、そして様々な人々と協働する力を身につけ、世界を共に創り上げていきましょう。

新学部の設置については申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

コンセプト

九州大学が全ての学生に求める「能動的学習能力」を礎にして、「共創」のために必要な態度・能力となる「課題構想力」、「協働実践力」、「国際コミュニケーション力」を養成します。これらの態度・能力の修得を通して「共創的課題解決力」の獲得を目指します。



「エリア」という新しい学びの場

絶えずダイナミックに流れ動く現代社会で新たな知や価値を生み出すために、従来の学問分野の枠組みを超えて、地球的・人類的な課題の存在する4つのエリア(領域)を設定します。それぞれのエリアは、学問体系を再構築した新しい学びの場として、社会のグローバル化への対応と共創力の養成に資するカリキュラムを編成します。



教育の特徴

課題に応じ自ら必要なことを学ぶという態度・志向性を身につけるために、学生自らがカリキュラムをデザインし、履修するアクティブ・ラーニング(能動的な学習)をもとにした教育を行います。全学共通である学びの「幹」をつくる基幹教育科目と、それを基盤とした5種類の専攻教育科目からなる教育課程です。また、徹底した語学教育によって、実践的に活用できる言語能力の獲得を目指します。



教育のポイント

01 徹底した語学教育

習熟レベル・能力別のクラスによる授業により高い英語運用能力を身につけるほか、現代の課題を認識し、常に最新の情報をグローバルな視野で入手する姿勢を養います。また、学術英語の語彙や表現、自らの意見を述べる力など、外国語による合意形成プロセスも学びます。留学生に対して行う日本語教育もレベル別・技能別のクラスで行います。



02 課題解決型のカリキュラム

複数の学問分野の知識や技能を組み合わせて問題の解決方法を考えていくため、人文科学、社会科学、自然科学という既存の学問分野を横断・融合する内容の様々な授業を用意し、学生自身が設定した課題の解決に必要な複数の専門分野の高度な知識や技能、考え方を修得します。



03 実践的な協働学習

チーム型学習(Team-Based Learning)による「共創基礎プロジェクト」「共創プロジェクト」を必修化することで、他者と協働して課題の解決を行う際の手法や技法、知識の活かし方、他者との意識の組み合わせ方や合意形成など、実際のプロセスを通して身につけます。



04 海外大学等への留学

海外大学への留学等を義務付け、すべての学生が異なる文化の中で学び、活動する経験を積むことで、国際理解や知識の拡大、言語能力とコミュニケーション能力の向上を図ります。



05 留学生とのクラス・シェア

日本人学生と外国人留学生が共に学ぶ授業スタイルを積極的に取り入れることで、日常的に日本人学生と外国人留学生の交流が行われる環境をつくります。互いに助け合い、コミュニケーションを取りやすい環境の中で、双方が国際的な感覚を養うことができます。



新学部の設置については申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

平成30年度入学者選抜

共創学部では、「知識を問う入試から、能力を見極める入試への転換」をキーワードに、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性を持つ多様な学生を選抜するため、「AO入試」、「推薦入試」、「一般入試」、「国際型入試」の4つのタイプの入試を実施します。全ての入試で、入学後の学習構想を含む「志望理由書」を、AO入試と推薦入試では「活動歴報告書」の提出を求めます。推薦入試と一般入試では、英語能力試験の成績の提出を認め、提出された成績を一定の基準で換算し、大学入試センター試験「英語」の得点として利用する方式を導入します。

■ AO入試(募集人員:20人)

過去17年間にわたって実施されてきた21世紀プログラムAO入試を一部見直して、共創学部AO入試として実施します。大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜を行います。

〈出願期間〉 平成29年9月中旬～下旬 〈選抜期日〉 平成29年10月上旬～中旬(第1次選抜)、平成29年11月上旬(第2次選抜) 〈合格発表〉 平成29年11月下旬

■ 推薦入試(募集人員:10人)

九州大学の入試で現在実施されていない推薦入試を実施します。高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とし、大学入試センター試験を課し、第1次選抜及び第2次選抜を行います。

〈出願期間〉 平成29年11月中旬 〈選抜期日〉 平成29年12月上旬～中旬(第1次選抜)、平成30年1月下旬(第2次選抜) 〈合格発表〉 平成30年2月上旬

■ 一般入試(募集人員:65人)

前期日程のみで実施します。大学入試センター試験と個別学力検査による選抜を行い、個別学力検査においては英語、数学、小論文を課します。

〈出願期間〉 平成30年1月下旬 〈選抜期日〉 平成30年2月下旬 〈合格発表〉 平成30年3月上旬

■ 国際型入試(募集人員:10人)

帰国子女入試、私費外国人留学生入試(4月入学、10月入学)を実施します。大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等を行います。

卒業生の将来イメージ

この学部を卒業すると、「学士(学術)」の学位が授与される予定です。

01 國際的・地域的課題に対する解決策を立案して、世界に効果的に情報発信できる実務家

02 國際社会の課題を解決するための新しい社会の仕組みや価値の創出をデザインする専門家

03 文理を超えた学際的知見を修得し、国内外大学院に進学する諸科学の境界・学際領域の研究者

設置構想に携わる教員からのメッセージ

共創学部では、一人ひとりの学生の知識や技能を相互に共有させながら、社会における現実的な問題解決に発展させていく学びのスタイルが想定されています。課題の解決へ向けて、科学・技術の側面から研究を進めることを目指す学生には、知識としての科学・技術ではなく、さまざまな科学・技術分野をつなぎ合わせる幅広く俯瞰的な知識体系と、社会の様々な問題に適用可能となる実用的な技能修得が必要となることでしょう。共創学部の科学と数学科目では、課題を発見(表現)し、分析し、対応するための総合的かつ実用的な問題の捉え方を重視した科目を提供することが計画されています。

副島 雄児 〈学位〉理学博士 〈専門分野〉物性物理学 〈所属〉基幹教育院 自然科学理論系部門



共創学部関係の主なイベントについて

平成30年4月設置予定の共創学部について、以下のイベントで高校生、保護者向けに説明を行います。

01 夢ナビライブ 名古屋

〈日時〉 7月15日(土)10:00～17:00 〈場所〉 ポートメッセなごや

〈URL〉 http://yumenavi.info/live/uketuke/kakunin/index_pc.aspx?p=nagoya

〈備考〉 共創学部の設置構想に携わる教員が模擬講義を行います。

02 大学のリアル

〈日時〉 7月17日(月)11:00～16:00 〈場所〉 福岡 電気ビル みらいホール

〈URL〉 <http://www.shingaku-dri.com/find/guidance/358>

〈備考〉 共創学部の設置構想に携わる教員による共創学部の概要説明・模擬講義を行います。

03 夢ナビライブ 東京

〈日時〉 平成29年7月22日(土)10:00～17:00 〈場所〉 東京ビッグサイト

〈URL〉 http://yumenavi.info/live/uketuke/kakunin/index_pc.aspx?p=tokyo

〈備考〉 共創学部の設置構想に携わる教員が模擬講義を行います。

04 オープンキャンパス

〈日時〉 8月6日(日)10:00～16:00 〈場所〉 九州大学 伊都キャンパス

〈URL〉 <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/opencampus/>

〈備考〉 共創学部の設置構想に携わる教員による共創学部の概要説明・模擬講義や、大学生活や大学での学びのことなど、気になることを現役九大生が個別に答える「学生に聞いてみよう！」を行う予定です。

05 夢ナビライブ 福岡

〈日時〉 10月21日(土)10:00～17:00 〈場所〉 マリンメッセ福岡

〈URL〉 http://yumenavi.info/live/uketuke/kakunin/index_pc.aspx?p=fukuoka

〈備考〉 共創学部の設置構想に携わる教員による模擬講義を行います。

その他、各地で進学説明会を予定しております。

詳細は共創学部特設サイトをご覧ください。

〈Webサイト〉

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/kyosogaku/>



新学部の設置については申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

人生設計を狂わせた出会い “九大でなければ”起こり得なかつた知的体験

大学時代に日本文学に興味を持ち、27歳で九州大学へ留学したロバート・キャンベルさん。九州大学での研究、先生や研究生との出会いが、人生の分岐点になつたと言います。

（聞き手：山縣由美子理事）



ロバート キャンベル

Robert Campbell

アメリカ・ニューヨーク市生まれ。近世・近代日本文学が専門の日本文学研究者。テレビや新聞、雑誌、ラジオなどさまざまなメディアで活躍中。

経歴

1981年	カリフォルニア大学バークレー校卒業
1985年	九州大学文学部研究生として来日
1987年	九州大学文学部専任講師
1992年	ハーバード大学大学院 東アジア言語文化学科博士課程修了 文学博士（日本文学専攻）
1995年	国文学研究資料館助教授
2000年	東京大学大学院総合文化研究科助教授
2007年	東京大学大学院総合文化研究科教授
2017年	国文学研究資料館長

きつかけは『源氏物語』 日本文学に感じた可能性

—大学時代（カリフォルニア大学バークレー校）に、日本について学び始めたそうですね。興味を持つきっかけは何だったのでしょうか。

大学1年生のある日、ウラジミル・ナボコフをテーマにした比較文学の授業で先生が「世

界で最も古い小説は、日本で11世紀に書かれた『源氏物語』だ」と話していました。それを聞いて早速、エドワード・サイデンス・テッカー訳の『源氏物語』を買って、英語で読みました。ポスト・モダンが流行り始めた時期で「文学は終わった」という言説が飛び交っていましたが、私は日本古典に、新しい理論を応用



2017年5月、国文学研究資料館の館長室で対談が行われました

する可能性があるのではないかと感じたのです。

それから、日本美術の授業も受けました。その中で、16世紀の桃山時代に描かれた「洛中洛外図屏風」に出会ったんです。霞がかかった独特の図柄の中に、棒をかついで物を売る女や喧嘩する男、托鉢する僧たち……。さまざまな人間が息づいていて、ものすごいパワーを感じました。

もつと日本の絵を見るにはどうすればいいのかと担当の先生に尋ねると、「絵はいつでも見られるから、言葉を覚えなさい」と言われてしまいました。

—それから日本語を?

いいえ。生意気だった私は「先生と私は同じ視神經を持つている。言葉を知らなくても絵を見る上では同じではないか」と反論したんです。それでも、先生は「言葉を学べば、『洛中洛外図屏風』の霞の下で生きるさまざま人々の物語を知ることができ。間口が何間ぐらいの家に住み、何の仕事をしているのか。この人はなぜ笑い、泣いているのかを」と教えてくださいました。その話に心を動かされ、1年生の夏の集中講義で日本語を学び

中野三敏先生に憧れ 初めて踏んだ九州の地

—九州大学を選んだのは、江戸文學研究の第一人者、中野三敏先生に師事するためだったと。

「黄表紙」の注釈を書いていて、先生の研究論文を読んでいたんです。中野先生を初めて知ったのは、中野先生が「洒落本」や



九大時代のキャンベルさん 27歳(太宰府天満宮 飛梅の前で)

それがすごく面白かったんです。一つ一つの「原文」が何を指しているのか、言葉や事柄や心を「注釈」という形で表している。まるで、パズルのピースをはめていくように、「原文」が組み合わさり、立体的な意味を持つ。中野先生はそんな注釈を書いていらっしゃったんです。

—注釈一つ一つから中野先生の研究者魂が生き生きと伝わってきたのですね。

始めたんです。3年生の夏には全寮制の学校で徹底的に日本語を学び、4年生になる前に日本へ留学しました。その後、江戸時代の文化に興味を持ち、27歳のとき九州大学文学部の研究生となりました。

福岡には行ったことがなかつたんですが、半年でも、1年でも中野先生のもとで教わりたいと思つて、お手紙を書いたんです。最初は1、2年の留学のつもりでしたたが、実際には10年も福岡に滞在しました。

—1、2年のつもりが九州大学に10年居てしまった（笑）。何がキャンベルさんを魅了したのでしょうか。

私がハーバード大学で身に付け、自分で構築してきた「江戸文學論」の骨格というか、足場み

* 中野三敏
九州大学名譽教授で平成28年文化勲章を受章。専門は江戸文学。P.20 参照。

ロバート・キャンベル
Robert Campbell



19世紀(江戸後期～明治前半)の漢文学に特に関心を寄せているそうです

たいなものが九州大学へ来て、わずか2週間でがらがらと音を立てて崩れてしまつたんです。これは人生設計の予期せぬアクシデントでしたね。他の大学だったら起こりえないことだったと思います。九州大学での研究は、私が今まで体験してきたものとは別世界のものでした。研究室のメン

バーで週末を使って月に一度ほど、福岡を離れて調査へ行くんです。

例えば、佐賀県鹿島市の祐徳稲荷神社です。ここには鍋島藩の支藩である鹿島藩代々の大名の蔵書が寄託され、何千冊も眠つていたんです。ただし、分類も何も、整理されてない。そこで国語学・国文学研究室のメンバーや、江戸時代について研究する専門家や大学院生、九大出身の先生たちが集まつて、10人くらいで数日に渡つて調査していました。部屋には何千冊という本が山積みになっています。一つのタイトルで5冊から10冊、泣き別れになつてるものを全て集め、神经衰弱のようにタイトルごとに整理していました。

—古書調査がそのような作業とは知りませんでした。

タイトルごとに整理するだけでも1週間はかかりました。ひたすら書庫から取り出し、紐をほどいて部屋の真ん中に置く。単純作業にも思えましたが、中野先生はこうおっしゃっていました。「まずは本の大きさ、形でそろえましょう。すると、大きく分けて4つくらいの山になる。この

4つの系統が江戸文学を表している」と。江戸時代の本は形が決まっていて、大きく分けると系統2つ、それをさらに細分化すると4つです。中野先生は、ほとんどの本がその4つに収まると言いました。

一本を読むのではなく、本の形をひたすら分類するのですね(笑)。

中野先生いわく、「本の形と本の中身は有機的に連動している。偶然ではないんです。形と内容は、実は必然的な結び付きがありますので、形をそろえて並べてあるので、形をそろえて並べていることで私たちの整理は6割くらい終わっている」と。私は大学時代から、江戸文学の真髄や面白さに魅せられていたので、本を開いて本文を読みたい。でも、整理するばかりでいつまでたっても本文までたどり着けない。たどり着けないんですよ(笑)。ただ、その場で私たちがやろうとしていることは、個々の本文を読むこと以上に、その時代を理解する行為でした。

—「本文を読む」以上に「時代を理解する」行為。深遠なお話ですね。もう少し教えてください。

例えば、300年前に鹿島を統治していた人物が、何を考え

どういう世界観を持っていたかを理解すれば、その人がどんな思想のもとに一つの藩を作らせたかが理解できる。蔵書を見るだけで新しい見解が生まれ、オリジナルの知見を発表できます。

ただ、そのために本文を一つ一つ読んでは100年あっても終わりません。まずはどういう風にこの本、そして蔵書が成り立つているかを突き止め、目録を作ります。200年もの間、誰も開かなかつた本をどうやって解釈し、どんな風に記述するか。その情報をもつて、次に同種の本に出会つたときにどんな比較ができるのか。正確に情報を抜き取ることができる「鑑識眼」が磨かれるんです。私は、研究生として九州大学で受け入れても



『源氏物語』の注釈書

らつて、この環境で働くことがで
きたのが何よりの経験として今
の自分につながっています。

足を使って頭を使う

研究の原点を学んだ

九州大学

キャンベルさんは「本当の研究
のスタートは九州大学だった」
「九州大学でよかったです」とあちこ
ちで発言してくださっています。

それが九州大学に来てみ
ると、みんながホコリにま
みれてひたすら古書の分
類をしている。かと思え
ば、わずか1年後には、学
生に江戸文学を教える仕
事を任されたり、もう、私
はきりもみ状態(笑)。こ
の九州のおおらかさって
何ですか?とみなさんに
聞きたいくらいです(笑)。
原典や現場にもまれ、先
輩や後輩にもまれ、最高



国文学研究資料館図書館にて

私は27歳で日本へ来たとき、
から見ても間違いなく、最も求
められているトレンドだと思いま
す。研究手法を共有し、他分野
は漢文学の専門家で、役人とし
て重要な仕事をしていました。
た。それと同時に黄表紙や洒落
本など、都会的で軽やかな文学
作品も作っています。江戸時代の
文学者は、すでに文系理系を越
えて深く広い学識を身に付けて
いたんです。

一なるほど!江戸時代から、
「共創」の概念はあったのですね。

当時の人たちから見れば、現
代の日本の知的活動はあまりに
も細分化されすぎて、学問の豊
かさが生まれる可能性を自ら
遮断しているかもしませんね。
今の世界の状況下で、九州大学
で共創学部をつくるということ
は、大きな意味を持つと思いま
す。すでに、九州大学のキャンパス
ではたくさんの日本の学生、世

かつ最善の環境でした。文系で
も理系でも、研究者というのは、
実物・現物・原資料に分け入つて
識別をして、真実かどうか見極
めの根拠を問うていくことが基
本だと、今は思っています。

九州大学では、文系理系の壁を
越えて世界の課題解決に立ち向
かえる人材を育てる「共創学部」
(設置申請中)を新たに開設しよう
としています。

エリアを超えた観点での研究
は、日本や他のアジア諸国、欧米
から見ても間違いなく、最も求
められているトレンドだと思いま
す。研究手法を共有し、他分野
でも重要な仕事をしていまし
た。それと同時に黄表紙や洒落
本など、都会的で軽やかな文学
作品も作っています。江戸時代の
文学者は、すでに文系理系を越
えて深く広い学識を身に付けて
いたんです。

社会活動

2012年～現在

- 公益財団法人鎮守の森のプロジェクト(旧称:瓦礫を活かす森の長城プロジェクト)理事

2016年～現在

- 文化庁 文化芸術立国実現に向けて文化庁長官アドバイザーメンバー
- 環境省 国立公園満喫プロジェクト有識者会議検討委員
- 日米文化教育交流会議(The US-Japan Conference on Cultural and Educational Interchange: 通称カルコンCULCON)日本語教育分科会(JLEC)委員

2017年～現在

- 文部科学省 中央教育審議会教育課程部会委員
- 九州大学経営協議会委員
- 九州大学グローバル化アドバイザーメンバー

主な著書

- 『明治漢文小説集』(共著/岩波書店/2005年)、
- 『江戸の声—黒木文庫でみる音楽と演劇の世界』
(編著/駒場美術博物館/2006年)、
- 『Jブングラー英語で出会い、日本語を味わう名作50』
(東京大学出版会/2010年)など。

界各国の学生たちが集まって共
に学んでいる。日本でキャリアを
築く人もいれば、中には日本と
海外を行ったり来たりしながら
暮らす人もある。共創学部
はそのサイクルが生まれる場と
して期待しています。

—今日はキャンベルさんのおかげ
で九州大学を誇らしく感じました。
ありがとうございます。ただし、最
後に九大生たちにエールをいた
だけませんか。

九州大学の魅力の一つは、東
京から離れているが故に自由な
発想ができることです。そして、
韓国や東南アジアが近く、その
影響をポジティブに受けられる。

実際に、学生同士の交流も多い。
研究を進める中では東京へ行か
なくては閲覧できない資料もあ
りますが、例えば近代文学を研
究しようと思つたら、小郡や北
九州、場合によつては奄美大島へ
行くこともある。頭だけでなく、
自分の足を動かさないといけま
せん。時間と労力をいますが、
フィールドワークは嘘をつきませ
ん。九大生には、フットワークの
軽さと、ファイティングスピリット
がある。キャンパスの移転や新学
部設立など、空間がシャツフルさ
れることで新しい時代を迎え、
これからどんな化学反応が起き
るのか。皆さんの活躍を楽しみ
にしています。

「フロントランナー」は九州大学の若手研究者の最前線をインタビュー形式で紹介するシリーズです。

バーチャルリアリティの研究が 暮らしおの「幸福度」を高める

ゲームの世界で広く用いられるようになつた「バーチャルリアリティ」(VR)という技術。実は、この研究を突き詰めることで、私たちの暮らしはより豊かになるということを知つていましたか?

上岡玲子先生にVRやコンピューター技術に関してお話を伺いました。

——先生が研究している「バーチャルリアリティ(VR)」とは、いったい何なのでしょうか?

バーチャルリアリティーは、私たちを取り巻く現実や私たち自身の実質(バーチャルの日本語の意味)を抽出し、表現した技術です。「近未来的」とか「先進的」といったイメージを持たれやすいのですが、私は「共感するための技術」と考えています。人と人は結局他人ですから、全ては分かり合えませんよね。でも、VRという技術を使えばこれまできなかつた方法で他人に共感す



九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授

上岡 玲子 Ryoko Ueoka

1997年 3月	慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科修士課程修了
4月	日本電信電話株式会社ヒューマンインターフェース研究所
1998年 3月	PanAmSat データ通信・マルチメディアビジネス開発部
1999年 8月	東京大学 先端科学技術研究センター 協力研究員
2003年 9月	東京大学 大学院工学系研究科 先端学際工学専攻博士課程修了 博士(工学)
10月	東京大学 先端科学技術研究センター 客員研究員
2005年 4月	東京大学 インテリジェントモーデリングラボラトリー 特任助手
2008年 4月	東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教
2010年 4月	東京大学 先端科学技術研究センター 客員研究員
6月	(独)産業技術総合研究所 産総研特別研究員
2012年 3月～	九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授

ることが可能かもしれません。

——具体的には、例えはどういつたことでしょうか?

2011年に東日本大震災が起きた際「自分は何ができるのだろう」と考えたことがあります。被災状況を360度映像で撮影した研究グループがいることを知り、それももちろん大切だけれど「映像に残しても100年経てば被災の恐怖の体験をうまく伝えられないのではないか」と、ふと思つたんです。

年経てば被災の恐怖の体験をうか。大切なのは「怖さをみんなが経験し、共感することではないか」。

そう思ひ、「怖い」という感情をつくるにはどんな要素が必要かを調べる研究を始めました。ほかには、怖さという感情を共有するだけではなく、楽しさの感情についても研究をしていました。例えば、人がどのくらい笑つて過ごしているのかを記録する「ライフレゴ」という実験もしています。

——それらの研究によって、私たちの暮らしはどうに変化するのでしょうか。

人が今どんな気持ちなのか、定量化しにくい部分を明確にしたり、体験可能な状態に符号化

することで他者の気持ちに共感できるようになります。

また、人が人に優しくなったり、寛容になつたりすることで幸福度が高まるのでは、と期待し

て日々研究を続けています。
——そういったVRの分野に興味を持ったきっかけは何だったのでしょうか。

もともと「人間の心はどう

なつてゐるのだろう」ということに興味があつたんです。人間というより「ヒト」ですね。同時にコンピューターにもすごく関心があり、VRやヒューマンインターフェース」という人間を中心とした科学技術の分野があることを知つたのが、この世界に足を踏み入れたきっかけです。

——先生は何度か大学に編入していますが、ご両親は反対されたのでしょうか。

それがまつたく! 私の両親はいつも「好きなようにしなさい」と育ててくれました。あとで聞くと父はすぐ心配していたよう

ですが、当時はにこにこと笑つて私の意思を尊重してくれていましたね。両親がいたから今の私がいると間違ひなく思います。

——九大の教員になろうと思った理由は何だったのでしょうか。

私、統合前の九州芸術工科大学に憧れがあつたんです。九州芸術工科大学の取組は先駆的で、ユニークな活動をしている卒業生がとても多く、以前から気になる大学でした。あるとき、同じくVRの研究をされていた現九州大学名誉教授の竹田仰先生に「九大の芸術工学部が教員

を募集している」と教えていただきました。

今までとは違う環境に身を置くことで自分自身が成長できるだけでなく、九州芸術工科大学の流れを持つ今の大学で私が何を貢献できるかを考えてみようと思つたんです。

——実際に教員になつてみて感じることはありますか?

学生たちのモチベーションが高いですね。好奇心が強くて何でも「やってみよう」という姿勢を多くの学生が持つてゐる。これは素晴らしい特徴です。

それから、いい意味で「知らないことが多い」と感じます。でもこれは一つの大きな武器なんですね。分からぬことがあります、それだけ「新しい発見にたくさん出会える」という証拠です。凝り固まつた常識から抜け出させることで、学生たちが一段階成長する過程を見るのが喜びの一つでもあります。

——学生たちと接する上で心掛けていることはありますか?

一人一人とコミュニケーションをとることです。学生たちが研究に行き詰まつていたら、話をながらゴールまで一緒に考えま



「怖い」感情はつくれるのか「Emotion Hacking VR」で研究中



す。答えを教えてしまうのは簡単ですが「自分の意思」で行動し考えたほうが、研究への満足度が高まると思うんです。そこまでいけるようにサポートをするのが私の役割でもありますね。

——一人で研究を進めるときと学生と一緒にするのとでは、違いはありますか？

学生たちというよりも、自分ではない誰かと一緒に研究をするのは面白いですね。それぞれの考えを合わせることでシナジー効果が起きると考えていました。

——ちなみに、研究をつらいと思つたことは？

一度もありません。ものの見方が変わったり、様々な人とつながることができたり、新しい何かをクリエートできたり…。研究は、私の知的好奇心を満たしてくれる存在です。「研究」というと、ものすごく難しいことをしていると思われがちなんですが、日々の生活の中にたくさん「研究要素」は転がっているんですよ。

——例えばどのようなことでしょうか。

私は研究の合間にパッケージ別に色々な種類のチョコレートが入ったお菓子を食べています。ある時、食べたい味のチョコレートをパッケージの視覚的な影響で選んでいるのか、無作為に選んでいるのかが気になつて、色々な種類を全て手作りの同じパッケージに入れ直し、無意識にパッケージデザインの影響で選んでいるのかが気になつて、色々

んでいるのかを調べる実験を始めました。これはどこかに出す資料でも何でもなく、単に自分が気になったから調べているだけなんです。こんなふうに日常の中で気になったこと

があればすぐ

「研究してみよう」「実験してみよう」という気になります。

——それが生活の一部という感じですね。

——何でも研究対象になり得るということですね。



類に空気をあてて刺激するとどんな変化が…？

——VRはまだまだ成長過程にある分野なので、楽しみですね。先生は研究の「ゴール」をどこに定められているのでしょうか。

「共感を生むメディア技術」になつてないかどうかですね。研究ですから思つたようにはいかない



学生とは1対1のコミュニケーションを心掛ける上岡先生

上岡先生 に聞く! Q & A



Q 研究に必須のアイテムはありますか？

A コンピューターはもちろん、オシロスコープやノギス、はんだごてなどの電子機器や工具類です。これがないと実験器具が作れないので重宝しています。あとは合間に食べるチョコレートですね。脳を活性化させるには糖分が必要なんです。

Q 研究以外で、趣味はありますか？

A それを目的にするという趣味はありません。でも、研究を長く健やかに続けられるように、健康作りのためにジョギングをするようにしています。家で好きな音楽を聴いたり、友だちと話したりと楽しい時間を過ごすことで、ストレスを溜めない生活を心掛けていますね。

Q 座右の銘を教えてください。

A 「原理原則」です。研究をする時は周りの色々なことに惑わされず、物事の真理や本質に目を向けて真摯に取り組む姿勢を大事にしたいと思っています。



ゼミ生に聞きました

今どんな研究をしていますか？

修士2年の島崎郁花さんは電気の流れる導電性の糸を腹巻のように加工し、笑いの記録をとる研究をしています。笑ったときにお腹の圧力が加わることで、その日、自分がどれだけ笑顔だったかを記録できるのが特徴。「笑うことは健康にいい」という言葉が本当なのかを実証するための研究だそうです。また、修士1年の大塚正人さんは「お菓子くん」という装置をつくり、ディスカッション中にお菓子があることで円滑に進むのかどうかを研究しています。どちらも、共通しているのは「人間の無意識の身体反応」。技術にも着目しますが、人間の特性を意識した研究を続けています。



ゼミ生はそれぞれ気になったテーマを研究中

「）とももちろんありますが、私が目指しているのは常に「共感」です。互いを思いやる気持ちが生まれるようなメディアができたらいいだろう」と悩んだり、とりあえず寝る。すると、起きたときは答えが導き出されてい

——先生が研究をする上で心掛けていらっしゃる事はありますか。

睡眠をしつかりとることです。私の経験上、7時間睡眠がベストですね。研究者は不規則な

最近だと2016年8月に福岡市美術館で開催されたゴジラ展のコラボレーション企画「Godzilla meets 'F'Museum.」です。美術館内を使つた

——私たちの暮らしが先生の研究によつて今後どのように変わっていくのか、ますます興味が湧いてきました。ありがとうございました。

*研究推進職（JRA: University Research Administrator）とは研究開発に係る企画立案、資金の確保、知的財産の取得および活用、その他研究開発に係る業務に従事する専門職。



学術研究・産学官連携本部
産学官連携推進グループ
研究推進専門員（JRA）
瀧 聰美

今回の聞き手

記者会見レポート



糸島産猪 肩ロース

株式会社 糸島ジビエ研究所について◀◀◀

糸島ジビエ研究所は九大ジビエ産官学連携プロジェクトのコアとして、2016年11月に事業化しました。糸島ジビエ研究所やジビエプロジェクト(学生チーム)では新メンバーも募集しています。どなたでもお気軽にご連絡ください。

在学生や受験生に向けて一言

「九大生である」という肩書きに大した価値はないと個人的には思っていました。ただ、自分から「――したい」という思いを持って自分から動き始める時、「九大生だから」できること・環境・支援が信じられないほどたくさんありました。「――したい」人にとって、九州大学はとても「良い」大学だと思います。

株式会社糸島ジビエ研究所
E-mail:info@gibierlab.jp



抗「ではない」として、ありがたく生きを頂くこと

福岡県でも、多くの生き物が駆除・廃棄されています。
「九大ジビエ産官学連携プロジェクト」は、伊都キャンパス内で猪対策に携わっている九大狩猟研究会の有志メンバーで発足しました。駆除される鳥獣を捨てる現状を変え、「私たち」人も自然の一員として、鳥獣への「対抗」ではない



九大で捕獲された約90kgの猪



革製品

く「共生」の道を開くことにつながると考え、革製品やヘアアブランなど、お肉だけでなく皮や毛に至るまで余すことなく活用する取組をはじめました。そして2016年11月には「株式会社糸島ジビエ研究所」として事業化しました。



QRECではC&Cを始め、学生の皆さまの独創的活動支援プログラムを各種開催しております。

Webサイト:
<http://qrec.kyushu-u.ac.jp/students/>



授賞式集合写真

C & Cについて

チャレンジ&クリエイション(C&C)は、本学の学生が自ら企画するユニークなアイデアや研究プロジェクトの実現を助成する全学事業です。1997年の開始以降毎年実施し、本学の独自性を示す象徴的な教育プロジェクトとなっています。個人またはグループが、自ら企画・計画したプロジェクトを独自性、挑戦度合、社会的インパクトの観点から審査し、8チームを選抜。学生は50万円を限度とする資金を活用し、実現を目指します。翌年2月には活動の成果発表会を開催し、再度の審査により優秀プロジェクトを表彰するものです。

チャレンジ& クリエイション(C&C) プロジェクト2016 総長賞受賞者



九大ジビエプロジェクト

西村 直人 にしむら なおと

受賞時:21世紀プログラム4年

(現:株式会社糸島ジビエ研究所 代表)



優秀賞 病院にエンターテインメント

奥田 一貴 おくだ かずたか

受賞時:医学部医学科3年 (現:医学部医学科4年)



聖路加国際病院でのイベントの様子

2016年にMOIRAというNPO団体を立ち上げ、病院でプラネタリウムを放映するという活動を開始しました。日本や米国の病院見学を通して、病院という特殊な施設で感動的な体験を提供したいと考え、入院患者の方々にアンケートを取った結果、星空という意見が多数あつたことがきっかけです。2016年度にはC&Cの補助金をいただきながら活動を開きました。九州大学病院(福岡)や聖路加国際病院(東京)ではプラネタリウムのイベントを開き、特に聖路加国際病院では700人の方が参加し、大変な反響をいただきました。これからもこの事業を通して病院という施設の可能性を広げる活動を続けていきたいと考えています。

MOIRAについて

MOIRAは2016年に正式に活動を開始したNPO団体です。関東や九州を中心に活動しており、病院に圧倒的な感動を届けることをミッションに掲げ、現在は病院でのプラネタリウム放映をメインの事業としています。

在学生や受験生に向けて一言

運よくプロジェクトで結果を残すことでき、今回総長賞優秀賞という名誉な賞をいただきましたが、結果というのは生き方や主義の延長線上にあるのであって、目的ではありません。最も大事なのは、自分がどう生きたいか、という根幹の部分であり、それを自由に模索するのが大学生活だと思います。

MOIRA
Webサイト:www.moira-jp.com



自転車のための パワーチェックサービスの構築

ローン・ジョシュア

受賞時:21世紀プログラム4年 (現:株式会社日本風洞製作所 代表)



作業風景



開発中の製品完成予想イメージ

「自転車を速く漕ぐ」とき、このエネルギーの8~9割が空気抵抗として消費されていることをご存じでしょうか。自転車競技において、意外にも空気抵抗が勝敗を分けるほど重要な要素になっています。私たちは、風力発電の研究のために開発した特殊な実験技術を応用し、自転車に乗った状態での空気抵抗などを測定し、画像解析によって得られた競技者の乗車姿勢などから、アドバイスを出すシステムを開発しました。2018年に自転車販売店やトレーニングジム向けに、このシステムを搭載した小型の試験装置をレンタルするサービスを開始するべく、製品開発に取り組んでいます。

株式会社日本風洞製作所について

競技自転車向けのアドバイスシステムの他に、技術のベースとなった新型の風力発電技術の製品化を目指し、2016年10月に株式会社日本風洞製作所を設立しました。AI(人工知能)や画像認識、ビッグデータ解析などに興味がある学生・研究者を募集しております。

在学生や受験生に向けて一言

大学は勉強するための場ですが、勉強は講義だけではありません。講義以外の勉強の場が九州大学には溢れています。大学はC&Cのような事業を整備し、講義室の外で学生が自らのアイデアや研究を実践するための支援をしています。在学生・受験生の皆さんも講義室では得られない勉強にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。



株式会社日本風洞製作所
TEL:0942-27-3077 E-mail:info@japanfudo.com

躍進 重力

水泳部



学生スタッフが取材・執筆を担当する企画「躍動」。タイトルは取材に協力した各サークルの代表者が書いています。個性あふれる手書き文字に、サークル活動への熱意を感じます。

大学ならではの新しい 水泳スタイルを築き上げる

どのように練習を行っていますか。

小野 伊都組と箱崎組に分かれ、利用者がいない朝に一般の施設を借りて練習しています。そして、週に一度合同で練習を行い、お互いの練習成果を確認し合っています。O.B.OGの方々の支援もあり、近々伊都キャンパスに新しいプールが完成する予定です。

宮崎 練習メニューについても学生が作成し、部員の泳力や体力に合わせて内容を変え、練習しています。

水泳部に入部したきっかけは何ですか。

宮崎 小学校から水泳をしていたのですが、選手として本気で取り組み始めたのは高校生になってからでした。タイムは伸びていったのですが、高校時の記録に満足することができませんでした。そのため、大学でも水泳を絶対に続けたいと思い入部しました。

矢野 高校での水泳が楽しかったことに加え、学業以外にも何かに打ち込まないと怠惰な大学生活を送ってしまうと考えたので、水泳部に入ることにしました。

九州大学水泳部独自の魅力を教えてください。

小野 九州大学は、九州地区国公立大学の中でも部員数がとても多いです。また、ほぼ毎日練習を行っているので、部員同士の仲が良く、団結して水泳に取り組んでいるところも魅力です。

矢野 下級生でも意見を出しやすい環境になつていることです。先輩に敬意を払いながら

らも、必要なことは上下関係にかかわらず、言うことができています。

他の水泳部との交流はありますか。

小野 医学部水泳部と兼部している人や、個人的に医学部水泳部の練習に参加する部員もいます。佐賀大水泳部とは合同で合宿を行うなど、他大学との交流も盛んです。

部活動のモチベーションを教えてください。

小野 タイムを更新することや大会に出ることです。平泳ぎは部の中でも特に選手が多い種目なので、チームの中で競い合うこともモチベーションのひとつになっています。

矢野 国公立大学の全国大会の標準タイムを切ることです。平泳ぎと同じく、自由形も選手が多いので、周りに負けないよう大切に琢磨しています。学業もしつかりこそことで、メリハリのある日々を送れるのもモチベーションになっています。

宮崎 自己ベストを出すことです。九州大学はバタフライの選手が少ないため、大会での対戦選手をイメージし練習を行っています。



「UP」—さらなる飛躍を

100年近い歴史を持つ「水泳部」。

誰よりも速く泳ぎたい心が、己を強くする。

代々受け継がれてきた水泳魂を胸に、さらなる高みを目指す。

今回の躍動では、水泳部の活動内容に迫ります。



DATA



◎部員数:約40名(男女比8:2)

◎活動場所:福岡西部スイミングクラブ(伊都地区)、

スポーツクラブアクトスWill箱崎店

◎活動日:週に6日、日曜日のみ合同練習

◎問い合わせ先 E-mail:kyushuswim@gmail.com

Webサイト:<http://kyushuswim.wixsite.com/boutique-recruitm-jp>

Twitter:@kyushuswim Facebook:@kyushu.u.swim.team

FOCUS

「七大戦(全国七大学総合体育大会)」^(※1)

旧帝大の七大学だけで争われる伝統のある大会です。ここでは、レギュラーリーグも激しく、上位入賞を狙っています。

「九国(九州地区国公立大学選手権水泳競技大会)」^(※2)

九州の国公立大学だけで開かれる大会で、私達は前年度に優勝しています。

「(学選)九州学生選手権水泳競技大会」

九州の全大学が参加する大会で、インカレ出場に有利になる4位以内を狙っています。

「アゼリア合宿」

3月に熊本で佐賀大学と4泊5日の合宿を行います。

この記事は、広報室学生
スタッフが制作しました。



練習が大変な時でも、僅差で負けた時のことを考えると、頑張ることができます。
上達のために何を行っていますか。

矢野他の部員やコーチからアドバイスを聞いたり、部員やマネージャーが撮ってくれた自分の映像を見たりしています。また、練習方法をネット検索し、独自のトレーニングを行っています。

宮崎自分で考えて練習しないとタイムが伸びないので、水泳に関する本を読んだり、他の人の泳ぎ方を見たりして、さまざまな知識を取り入れています。

今後の水泳部の目標を教えてください。

宮崎九州の大きな大会や七大戦では、上位を目指しています。また、過去に9連覇した九国では去年優勝しており、今年は連覇を狙っています。

高校生・九大生へメッセージをお願いします。

宮崎大学の水泳は高校までの水泳とは全然違います。そのため、高校で水泳をやり切ったと感じている方もぜひ見に来てください。

矢野初心者・経験者問わず、誰でも歓迎します！

小野受験勉強は大変だと思いますが、私は達とぜひ一緒に水泳をやりましょう！

取材協力



宮崎 郁弥さん
(主将・バタフライ)
農学部3年



小野 友輔さん
(主務・平泳ぎ)
経済学部3年



矢野 秀弥さん
(自由形)
法学部2年



未来を担う4798名が新たな一步を

平成28年度 学位記授与式

平成29年3月24日(金)、伊都キャンパスの椎木講堂において、平成28年度学位記授与式が開催されました。

九大フィルハーモニー・オーケストラによる演奏の後に、久保千春総長から11の学部および21世紀プログラムの総代にそれぞれ学位記が授与され、2551名が卒業しました。

久保総長は告辞において、「皆さんが九州大学を卒業したことに誇りをもつて、学んだことを生かし、夢を持つて今後の未来を切り開いて大きく飛躍し、グローバル社会を力強く牽引するリーダーとして大成されることを期待します」とはなむけの言葉を贈りました。

卒業生を代表して花田 理沙さん(農学部)が「社会で活躍する人間になるために、専門分野の知識を深めることはもちろんのこと、幅広い知識を身につけ、たくさんの人々と交流し、さまざまな経験をしていくこと、それらを通して常に自分自身をよりよい方向へ変えていくことが必要であると考えます。そして、どのような時も今の自分がるのは今まで自分に関わってくれた方々のおかげであるということを忘れないでいたいと思います」と答辭を述べました。

午後からは同会場で大学院の学位記授与式が開催され、修士学位記、専門職学位記、博士学位記が各総代に授与され、2247名が大学院を修了しました。

式後は、卒業生のみなさんを後輩たちが迎え、記念撮影や胴上げでにぎわう様子があちらこちらで見られました。

平成29年度 入学式

平成29年4月5日(水)、伊都キャンパスの椎木講堂において、平成29年度入学式が開催され、各学部の計2635名が新たに九大生となりました。

久保千春総長が新入生に向けて、「広い学問への興味」、「国際的視野と活動」、「政治への関心」の三つのことをお願いするとともに、失敗を恐れず、チャレンジ精神で学生生活を送ってください」と激励しました。

続いて、新入生総代の本庄 史於さん(理学部)が、「私たちは本学教育の趣旨を体して、自立の精神を重んじ、学術を極めるとともに、自ら人格の陶冶に努め、社会の期待に沿うことを誓います」と誓詞を朗読しました。

また、来賓の国文学研究資料館のロバート・キャンベル館長からエンパンシー(共感力)の定義と重要性について説明があり、「本物の知性が何か、それを聞くきっかけをこのキャンパスで見つけてほしい」と激励の祝辞をいただきました。

式後には、丸野理事・副学長による講話があり、九大混声合唱団による学生歌「松原に」の合唱や、応援団・チアリーダーによる演舞が披露されました。最後に新生活に向けての学生生活ガイドンスで締めくられました。

同日に開催された大学院の入学式では、修士課程1812名、博士(後期)課程556名、専門職学位課程127名、合計2495名が入学しました。総代として博士(後期)課程の前田瞳さん(地球社会統合科学府)が誓詞を朗読しました。

総勢5130名の希望に満ちた九大生・院生が誕生



KYUDAI TOPICS

Topics

01

中野三敏名誉教授文化勲章受章記念祝賀会を開催

2017年3月4日(土)、西鉄グランドホテルで「中野三敏名誉教授文化勲章記念祝賀会」を開催しました。

本祝賀会は、本学の中野三敏名誉教授が2016年度に文化勲章を受章されたことを記念して、文学部国語学・国文学講座を中心に企画・開催されたものです。中野名誉教授の専門は江戸文学で、今回の文化勲章受章は従来の定説を覆すその革新的な業績の数々が評価されたものです。

祝賀会に先立って久保総長から、これまでの中野名誉教授の本学に対する教育・研究などへの貢献に対し特別感謝状を贈呈しました。

続いて、実行委員長である辛島正雄文学部教授の祝賀会開

会宣言があり、久保智之文学部長をはじめ、かつて中野名誉教授と深い親交があった元教員や卒業生などによるスピーチが次々に繰り広げられ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

本学教職員や元教員、卒業生、学生など約80人の参加者は、スクリーンにスライドショーで映し出される中野名誉教授のスナップ写真を見やりながら、これまでの研究・教育業績の偉大について思いを馳せました。最後には発声がご不調の中野名誉教授に代わり、ご子息がメッセージを読み上げられ、参加者はその内容に深い感動を受けるとともに、大いに勇気づけられました。



会場の様子



特別感謝状を手にする中野名誉教授(左)と久保総長(右)

Topics

02

タイ王国最高裁判所長官ご一行が法学研究院を表敬訪問

2017年3月5日(日)、タイ王国最高裁判所長官Veerapol Tungsuwant氏およびタイ王国最高裁判所事務総局長Athikom Intuputi氏ら9人が本学法学研究院を表敬訪問されました。

タイ王国最高裁判所と法学研究院との交流は20年近くにも及び、なかでもタイ王国裁判所から推薦された数名の裁判官を本学に迎え、1年間でLL.Mを取得する「ヤング・リーダーズ・プログラム」や、タイ王国裁判官および裁判所事務官向けに英語による講義を提供する「現代法学研究ディプロマコース」の開発・実施など、多方面にわた



協議の様子

る交流を実施してきました。

挨拶後には、本学教員による福岡市および本学の概況ならびにプログラムの実施状況を説明の上、今後の両機関のさらなる交流に向けて協議が行われました。



集合写真

Topics 03 薬学研究院Jose Manuel Martinez Caaveiro准教授がスペイン国王夫妻との交流会に参加

2017年4月4日(火)から4月7日(金)、スペイン国王のフェリペ6世夫妻が国賓として来日され、天皇、皇后両陛下と会見、安倍晋三首相と会談などを行われました。

4月5日(水)にはスペイン大使館から「日本で活躍するスペイン人研究者(約10名)」に選ばれた、薬学研究院グローバルヘルスケア分野のJose Manuel Martinez Caaveiro(ホセ マニュエル マルチネス カアベイロ)准教授が、日本科学未来館にて、国王夫妻、同行したカルメン ベラ氏(スペイン王国 経済・競争力省 調査・開発・イノベーション担当総局長官)と意見交換を行いました。

Jose Manuel Martinez Caaveiro准教授は、スペインバスク地方の出身で、スペインバスク自治州大学で博士号を取得し、米国マサチューセッツ工科大学、ブランデイズ大学で博士研究員を経て、2007年から日本で博士研究員として活躍しています。



正面がスペイン国王、右隣が王妃、その隣がカルメン ベラ長官。第二列の一番左がJose Manuel Martinez Caaveiro准教授

また、2017年2月より東京大学大学院工学系研究科の主幹研究員から、本学薬学研究院が部局活性化制度で獲得した教員ポイントにより新設された「グローバルヘルスケア分野」の准教授に着任しています。

Topics 04 『世界一の九州をつくろう。』新ロゴデザインに本学学生作品が決定

キリングループが公募した「キリングループ九州エリアスローガン『世界一の九州をつくろう。』新ロゴデザイン募集」において、本学芸術工学部の川畑友里さんの作品が最優秀賞を受賞し、今後、キリングループが九州エリアで展開する広告・販促活動全般(ポスター等の販促ツール、新聞・雑誌広告等)で幅広く使用されることになりました。

2017年4月25日(火)、本学大橋キャンパスで、キリンビール株式会社の松浦泰彦九州統括本部長、キリンビバレッジ株式会社の澤村勝史九州地区本部長、メルシャン株式会社の前田宏和九州支社長のご出席の下、授賞式を開催しました。

川畑さんは、「今回このような素敵なお賞をいただき大変嬉しく思います。『世界一の九州をつくろう。』のロゴということで、九州の良さが出るよう、また、多くの人に親しまれるデザインとなるよう心がけました」と感想を述べました。

デザインコンセプト

九州には阿蘇山や桜島などの火山、別府温泉や黒川温泉などの温泉が多いことから、九州の文字に山と温泉マークを組み込み、全体的に自然な色でまとめ温かみを演出しました。



採用された新ロゴデザインと川畑さん

Topics

05

九州大学グローバル化アドバイザリーボードミーティングを開催

2017年3月29日(水)、伊都キャンパスの椎木講堂で、第1回九州大学グローバル化アドバイザリーボードミーティングを開催しました。

グローバル化アドバイザリーボードは、本学の国際化とガバナンス改革について、学外の外国人有識者から意見をいただくことを目的として設置しているものです。

本ミーティングでは、久保総長による本学の現状についての説明、緒方副学長(SHAREオフィス室長)によるスーパーグローバル大学創成支援事業(SHARE-Q)についての説明の後、「ガバナンス改革」、「教育国際化」、「研究国際化」、「レビューションマネジメント」の4つの協議事項について意見交換が行われました。ボードメンバーからは、「若手教員をはじめ本学の教員が数多く海外経験を積むこと」、「レビューションの向上」、「外部評価の実施」、「人材のダイバーシティの向上」などの必要性について意見をいただくと

ともに、新たに設置する予定の共創学部に対する期待の意見もいただきました。

なお、2017年度に第2回目のミーティングの開催を予定しています。



ミーティングでの意見交換の様子

グローバル化アドバイザリーボードメンバー



ロバート・キャンベル氏
東京大学大学院総合文化研究科教授(当時)
国文学研究資料館館長



モンテ・カセム氏
学校法人立命館評議員、理事補佐、
政策科学部・研究科教授



リチャード・ダッシャー氏
スタンフォード大学
アジア米国技術経営研究センター所長、
スタンフォード大学特任教授



ロバート・ファン氏
スリーブログループ株式会社取締役



イアン・ニアリー氏
オックスフォード大学日産日本問題研究所教授

受賞のお知らせ

平成29年 春の叙勲

【教育研究功劳】

〈瑞宝大綬章〉

梶山 千里

第21代九州大学総長

九州大学名誉教授(工)

元九州大学大学院工学研究院長



梶山元総長は、本学教授として長きにわたり教育・研究、国際活動、社会貢献等の幅広い分野で活躍し、平成13年11月からは、第21代九州大学総長として九州芸術工科大学との統合、伊都キャンパスへの移転開始、国立大学法人化、さらに本学百周年記念事業のスタート等、多大なるエネルギーを必要とする四大事業を推進され、本学の教育・研究と組織の改善・改革に貢献されてきました。

梶山元総長は、本学教授として長きにわたり教育・研究、国際活動、社会貢献等の幅広い分野で活躍し、平成13年11月からは、第21代九州大学総長として九州芸術工科大学との統合、伊都キャンパスへの移転開始、国立大学法人化、さらに本学百周年記念事業のスタート等、多大なるエネルギーを必要とする四大事業を推進され、本学の教育・研究と組織の改善・改革に貢献されてきました。

梶山元総長は、本学教授として長きにわたり教育・研究、国際活動、社会貢献等の幅広い分野で活躍し、平成13年11月からは、第21代九州大学総長として九州芸術工科大学との統合、伊都キャンパスへの移転開始、国立大学法人化、さらに本学百周年記念事業のスタート等、多大なるエネルギーを必要とする四大事業を推進され、本学の教育・研究と組織の改善・改革に貢献されてきました。

梶山元総長は、本学教授として長きにわたり教育・研究、国際活動、社会貢献等の幅広い分野で活躍し、平成13年11月からは、第21代九州大学総長として九州芸術工科大学との統合、伊都キャンパスへの移転開始、国立大学法人化、さらに本学百周年記念事業のスタート等、多大なるエネルギーを必要とする四大事業を推進され、本学の教育・研究と組織の改善・改革に貢献されてきました。

〈梶山元総長からのメッセージ〉

今回の栄ある受章は、高分子固体物性の分野で世界最先端の研究を探求してきた仲間や、九州大学、日本学生支援機構、さらに福岡女子大学の多くの関係者の皆さま、また多くの教育・研究に関する事業の推進に参加していただいた九州大学名譽教授(工)皆さまの支援によるものと大変感謝致しております。特に総長時代の四大事業は、私の在任中に濃縮して到来した難事業でしたが、私自身は、九州大学にとって千載一遇のチャンスと確信し、組織・活動の改革・発展に全力でまい進しました。

総長時代の初期は、国立大学の法人化という日本の大学の歴史で最も激変の時代であり、組織や教育・研究分野の改善・改革は大学組織人の協力無しには成功どころか前進もしない大変な転換期でした。一方で、我々の努力が目に見えて大学の進化・進展につながる良い時期でもあります。リサーチコアの新設や4・2・4アクションプランの提言、研究スーパースター支援プログラムの実施、5つのQ-STARSの設置等、進展が直接目に見える教育研究拠点の構築と活動を開始することができました。これらの事業に積極的に貢献していただいた関係各位に厚く御礼を申し上げます。九州大学が約15年前にアジア志向を掲げ、広く展開した国際活動は、今ではアジア重視として当たり前の政策となり、先見の明があつたと信じています。

〈瑞宝重光章〉

笹月 健彦

九州大学高等研究院特別主幹教授
九州大学名譽教授(生医)



〈笹月特別主幹教授からのメッセージ〉

この度は身に余る叙勲の榮に浴し大変光栄に存じます。永年にわたりさまざまな分野とさまざまな局面でご指導賜り、また共に努め、共に力を尽くして下さった全ての方々に深く感謝し、心から御礼を申し上げます。

筆者として、H.L.Aを中心とした免疫遺伝学の研究活動を展開するとともに、次世代を担う若手研究者の育成に尽力されています。教授として、H.L.Aを中心とした免疫遺伝学の研究活動を展開するとともに、次世代を担う若手研究者の育成に尽力されています。

〈瑞宝中綬章〉

松井千秋

九州大学名誉教授(人環)

難波昌伸

九州大学名誉教授(工)

入江正浩

九州大学名誉教授(工)

真木太一

九州大学名誉教授(農)

筒井哲夫

九州大学名誉教授(先導研)

元九州大学大学院総合理工学研究院長

【文部行政事務功劳】
〈瑞宝双光章〉

青木重仁

元九州大学工学部等事務部長

【地理科学(Geosciences)分野】
竹村俊彦

応用力学研究所 教授

平成29年度

科学技術分野の文部科学大臣表彰

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として行われているものです。

【科学技術賞】

立花宏文

大学院農学研究院 王幹教授

「緑茶成分の生理作用の分子基盤に関する研究」

藤澤克樹

マス・フォア・インダストリ研究所 教授

「グラフ解析及び最適化ソフトウェアの開発と応用に関する研究」

Highly Cited Researchers 2016

クラリベイト・アナリティクス社が、同社の論文動向分析データベースを用いた独自の分析により選出しているものです。今回は平成16年から平成26年の11年間に公表された論文・引用データから、各研究分野においてトップ1%の被引用数を持つインパクトの非常に高い論文を一定数以上発表されている方が「世界で影響力を持つ专家学者」として選ばれています。



「Diversity Speaker」

Autodesk Panorama 2017

アジア各国で開催された「デザイン・ハブ・チャレンジ」で優秀な成績を収めた学生が参加資格を得るもので、Audio Technology(音響技術)というテーマで開催されました。

【Grand Winner】

水野諒大

大学院芸術工学府修士2年

河野圭紀

大学院芸術工学府修士2年

小川慧

大学院芸術工学府修士2年



九大生が現地からレポート

世界の キャンパス

九州大学から世界へ!!

海外でどんなことを学び、どんな暮らしをしているのか。
素直な言葉で語っていただきました。

文学部
4年
田場 裕里加
(たば ゆりか)

留学国: アメリカ
留学先: ワシントン大学

高度な講義と勉強熱心な仲間たち。
刺激あふれる街・シアトルでの体験は
これから的人生の糧になりました。



帰国前日、UWオブジェの前にて記念撮影

私は専攻の統語論分野を中心
に、言語学系の授業を履修しま
したが、予想通り学生の発言量
は日本に比べ圧倒的に多く、授
業がとても活発でした。中で

UWは学生含め地域の人々に愛
されており、アメフトシーナー
ンは、UWのロゴ入りの服を着て盛
大に応援していました。

私は専攻の統語論分野を中心
に、言語学系の授業を履修しま
したが、予想通り学生の発言量
は日本に比べ圧倒的に多く、授
業がとても活発でした。中で

も、秋・冬学期と継続して履修
した専攻の授業では多くのこと
を学びました。秋にはひとつの一
言語を選び、統語論的特徴を調
べ発表(私はマオリ語を選択)、

冬には先行研究に対する批評を
書く課題がありました。専門用
語を用いての討論や発表には苦
戦することも

ありました。秋にはひとつの一
言語を選び、統語論的特徴を調
べ発表(私はマオリ語を選択)、

留学生の本音トーク

休日や放課後の過ごし方は?

UWのジムでズンバのクラスを受けたり、地元
の小学校で日本語ボランティアをしたり、近く
の都市に小旅行をしたりと、貴重な経験をし
ました。



JSA(日本人学生会)主催のハロウィーンイベントにて

留学情報はこちら!

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study>

大学情報
ワシントン大学

1861年に設置され、アメリカ
西海岸で最も古い歴史を誇り、
「UW(ユーダブ)」の愛称で親しまれ
る総合大学です。学部生だけでもお
よそ3万人在籍しており、「学期に
2000を超える授業が開講され
ています」。



桜が満開になったUWのquadという広場

キャンパス内には24時間開館の図
書館を含め14もの図書館、アメフト
のスタジアム、ジム、イベントホールな
どがあり、大学生活を充実させる設
備が整っています。学生の出身地構
成も多様性に富み、各國の学生会な
ども組織されています。

留学生サポートに関するでは、留
生のオフィスに相談窓口が設置さ
れて、また留学生向けの定期的な交流
イベントを開催する団体も組織され
ています。

クオーター制ですが、雨期を乗り越
えた春学期にはイベントも多く最も
盛り上がるので、UWへの留学に興
味のある方にはぜひ、1年間の留学
をおすすめします。



留学生体験記

九州大学で学ぶ留学生の日常を紹介するコーナーです。
今回はアメリカのジョージア州から来た
ブライアン・アレクサンダー・マンさんに、
九大の魅力や日々の過ごし方についてインタビューしました。

Q 日本に興味を持ったきっかけは？

大学1年生のとき、大学の授業で日本について学ぶ機会がありました。戦国時代の誇り高い武将たちのエピソードを聞いて胸を打たれました。それ以来、日本の歴史や文化がどんどん好きになって。いつか必ず日本へ行って学びたいと思って、独学で日本語を勉強していました。大学4年生のときに「短期プログラム(JTW)」のチャンスが訪れ、念願の夢が叶いました。

Q どうして九州大学に？

ジョージア大学でお世話になっている先生が、九州大学に留学していたので薦めてくれました。九州大学は教育のレベルが高く、世界的に見て優秀な指導者や学生たちが集まっているキャンパスだと教えてもらいました。実際に、私が所属している研究室では日本の学生はもちろん、イギリス、ベトナム、中国などいろいろな国から勉強熱心な学生が集まっていて刺激的です。

Q 初めての留学に不安はありませんでしたか。

知り合いがない土地に一人で来ましたが、最初からワクワクしていました。友達はすぐにできだし、留学生の仲間で集まって夕食パーティーをするのが今では恒例イベントになっています。調理担当が順番に回ってきて、みんなが自分の国の料理をふるまってくれます。私の得意料理はイタリアン。母から教わったレシピで作るパスタが好評でした。

※ALR…JTWプログラムの選択科目の1つ。学生自身が選択した研究テーマについて、スーパーバイザーの研究室で研究ができる。

Q どんなことを学んでいますか。

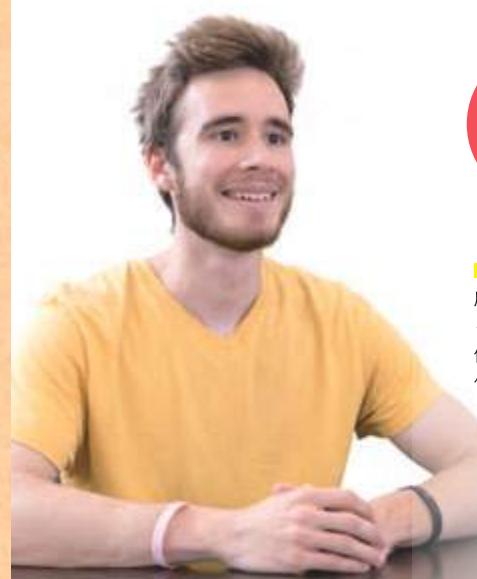
今、専攻しているのは暗号学です。ジョージア大学では数学全般を学んでいましたが、ALR*で専門的に学べるのがうれしいですね。JTWの授業では、少子高齢化やダイバーシティなど日本の社会的な課題、日本特有のコミュニケーションについて英語で講義を受けています。私は空手部に入っていて、最初は先輩・後輩の関係が分からなかったんですが、JTWの授業で「縦社会」について学んでからはすっきりと理解できました。

Q 思い出に残っている出来事は？

月に数回、JTWの恒例行事で修学旅行へ出かけています。先日は久留米市の梅林寺に行き、座禅体験をしました。瞑想に集中しなくてはいけないのですが、私は背筋がゆるんだりして、肩を8回も叩かれてしまいました(笑)。痛かったけれど、奥深い世界を知ることができました。

Q 九州大学に来てよかったです？

九州大学は自然に囲まれて空気がきれい。緑に囲まれて海もある。悠悠自適に過ごせる環境です。留学生生活も残り数カ月になってしましましたが、心残りがないよう思い切り、日本の自然と文化を味わいたいと思っています。ジョージア大学に戻ったら、今度は九州大学から留学する友人がいるので、今度は私がアメリカの文化や魅力を伝えたいですね。



My
Favorite

日本文化

座禅体験では叩かれた後にお札を言うことに驚きました！前回の修学旅行では別府の温泉へ行き、伝統的な旅館に泊りました。



大自然

九州大学の周りは自然に恵まれています。最近は海岸でバーベキューをするのがブームです。野菜も魚も美味しいと最高ですね。

友人

休みの日には天神でショッピングをしたり、書店で本を探したり、友人たちと過ごす時間を大切にしています。

Brian Alexander Mann(ブライアン・アレクサンダー・マン)さん

留学生センター Japan in Today's World(JTW)

アメリカのジョージア大学(University of Georgia)では数学を専攻。22歳。2016年9月から1年間の留学が始まり、九州大学では暗号学を専門に研究する。ストレス解消法はギター演奏。

寄附者を招き「感謝の集い」を開催

平成29年3月28日(火)、本学伊都キャンパスにおいて、寄附者を招き「感謝の集い」を開催しました。

この催しは、本学に多大なるご寄附を賜りました皆さまをお招きして、直接謝意をお伝えするとともに、本学に対するご意見などを頂戴するため、今回初めて開催したものです。

学外からは九州大学基金および本学百周年記念事業の寄附者から14名の方々にご参加いただき、本学からは久保総長をはじめ、丸野理事・副学長、井上理事・副学長、若山理事・副学長、伊藤理事・副学長、玉上理事・事務局長、山縣理事、細田監事、研究院長などの13名が出席しました。

はじめに、周遊バスにて伊都キャンパスの移転の最新状況をご覧いただき、建設が進む人文社会科学系、農学系の総合研究棟などの説明に寄附者の皆さまは大変興味を示されていました。

懇談では、はじめに久保総長より歓迎の挨拶と大学の近況紹介があり、その後、九州大学基金の支援を受けた学生を代表して、山川賞受賞者より活動成果報告を行いました。寄附者の皆さまからは、伊都キャンパスの環境整備に対するご意見や山川賞受賞者に対する激励など、貴重なお言葉を多く頂戴しました。

懇談後に行われた懇親会では、和田光史元総長(昭和26年・農学部卒)による乾杯で幕を開け、寄附者の皆さまは在学時の思い出などを語り合い、懐かしい話題に花を咲かせました。

最後に、ロバート・ファン氏(昭和43年・工学部卒)に閉会の挨拶をいただき、感謝の集いは盛会のうちに終了しました。

〈お問い合わせ先〉九州大学総務部同窓生・基金課基金係
TEL:092-802-2150 E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp



参加者による記念写真



久保総長の挨拶



懇親会でのロバート・ファン氏ご挨拶

九大会員の皆様へ～新たな特典が加わりました～

このたび、新たに九州大学病院の「SUBWAY」、「シアトルズベストコーヒー」、「ビアンモール」が特典に加わりました。このほかにも多くの特典をご用意しておりますので、是非入会いただきますようお願い申し上げます。

九州大学病院内の以下の店舗で特典をご利用いただけます

(外来診療棟1階ホスピタルモール)

SUBWAY(サブウェイ) TEL:092-632-8292

シアトルズベストコーヒー TEL:092-643-5161

特典 メニューを注文時に、合計金額より**10%割引**



レストラン ビアンモール TEL:092-645-2766

特典 ビアンモール飲食時にドリンクバーサービス



ご利用の際は会員証をご提示ください



九大会員のお申込みはWebサイトからお願いします

<http://kikin.kyushu-u.ac.jp/>

九大会員

検索

*各特典については、ご利用条件などをご確認の上ご利用ください。



九州大学

九大が楽しくわかる一日

九州大学 アカデミック フェスティバル

2017

ホームカミングデー



開催が決まりました!

平成
29年

10月21日 土 10:00~
16:00

場所：九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂等
〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学の
“今”を
楽しく知つて
いただける1日です！



今年も楽しみ～



昨年は、同窓生・在学生に加え、高校生や地域住民の方など800名を超える参加があり大盛況でした。皆様、ぜひお気軽にご参加ください。

*イベントの詳細や参加申込方法等については、随時下記ホームページに掲載し、お知らせします。



交歓会



学生や研究者の
ミニ講演



ミニ講義



伊都キャンパス
バスツアー



研究成果見本市

九州大学

写真
コンテスト

伊都キャンパス、箱崎キャンパス(思い出の写真)

実施します！

学生、教職員、一般の方
誰でも参加OK!
詳しくはホームページにて！



九州大学総務部同窓生・基金課同窓生連携係

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

TEL 092-802-2147・2158

お問い合わせ

詳しい
内容は

九州大学アカデミックフェスティバルホームページ

http://kikin.kyushu-u.ac.jp/academic_festival/

検索

九州大学 アカデミックフェスティバル

スマートフォンからご利用いただけます。





松の実会総会・50周年記念式典・講演会

平成29年2月19日(日)に開催された、平成28年度松の実会総会・講演会は、発足50周年の記念の会にふさわしく賑やかなものになりました。

総会に引き続き50周年記念式典では、久保総長のご臨席を賜り、

志村恭子会長(昭和52年・経済学部卒)から、歴代会長の皆さんに感謝状と花束をお渡しました。また、記念事業として取り組んだ「伊都キヤンパス植樹プロジェクト」には多くの寄附が集まり、50万円を寄附することができました。

講演会では、最高裁判事を退任されたばかりの櫻井龍子様(昭和44年・法学部卒)から、「最高裁判事としての8年」と題してお話しいただきました。「自身を、愛される最高裁を目指すスポーツマネージャー」とおっしゃる通り、最高裁についてわかりやすくお話しされました。何よりも若々しく素敵なお姿が最高裁を身近なものにしているように思われました。

懇親会は、今年も福岡同窓会・貫正義会長(昭和43年・経済学部卒)による乾杯のご発声で開会しました。会場には創刊からの会報を掲示し、50周年の記念ムービーも上映しました。関東、山口、佐賀の各支部から、また海外から参加の方もおられ、例年より多い

130名がそこかしこで思い出話を花を咲かせました。

松の実会50年の歴史を感じ、新しい50年に向かつて思いも新たにした一日でした。



久保総長と歴代会長の皆さま



櫻井龍子様の講演

在京親和会総会

在京親和会は、工学部化学系の卒業生を中心とする同窓会です。

平成29年3月17日(金)、東京都千代田区の三菱クラブにおいて、平成28年度総会が開催され、9名の

先生方と64名の会員が出席しました。

総会は、鈴木龍男会長(昭和49年卒)の挨拶で始まり、運営報告、監査報告、会計報告を経て、新年度の予算案と役員改選が承認され、滞りなく終了しました。

続いて、城野正博副会長(昭和56年卒)の進行のもと、今坂藤太郎九州大学名誉教授による『虹色レーザーの発見と極限超短バルス光の発生への応用』と銘打った記念講演が行われました。時折ユーモアを交え満場を沸かせた講義は、後進への希望と思いやりにあふれる内容でした。質疑応答も含め、大変有意義な時間となりました。

その後、中原毅副会長(昭和55年卒)の司会で懇親会に移り、新海征治親和会会长(昭和42年卒)の祝辞を頂戴した後、喜嶋安彦前会長(昭和44年卒)の音頭で乾杯し、参会者一同旧交を温めながら歓談しました。



今坂先生の講演



新海先生のご挨拶

がありました。

橋本和人副会長(昭和59年卒)の中締めの挨拶により、再会を約束しながら散会しました。

在京親和会会长 鈴木 龍男(昭和49年・工学部卒)

〈連絡先〉在京親和会事務局

〒135-0016 東京都江東区東陽5-7-12睦美マイクロ(株)東京支店内

TEL:03-5690-7275 FAX:03-5690-7276 E-mail:m-nakahara@mutsumi-m.com



Alumni Association

同窓会だより

日本人留学生会(FJAV)との懇談会が、ハノイ市内のレストランで開催されました。FJAVは、福岡県内の大学に留学経験のあるメンバーで構成する同窓会です。今回、本学同窓生のみ参加する懇談会で、総勢20名が参集し、本学からは久保総長、緒方副学長等が出席しました。



久保総長を囲んでの集合写真

はじめに、本学ハノイオフィスのニヤン所長(平成3年・経済学部に留学。ベトナム元日本留学生協会副会长)から挨拶がありました。その後、久保総長がDVDの上映を交えて本学の現況等を紹介しました。出席者からは「移転事業が完了した際には、ぜひ伊都キャンパスを訪問したい」との声が多く聞かれました。

その後、出席者は思い出や近況を語り合つたり、久保総長を囲んで写真撮影したりと、和やかな時間を過ごしました。閉会前には、DVDに合わせて学生歌「松原に」を合唱しました。久保総長から同窓会の定番であることを説明され、「松原に」に馴染みのなかつた出席者は「次回は歌えるように練習した」と意気込んでいました。

在ベトナム同窓生との懇談会

九州大学同窓会連合会 総会・懇親会

インドネシア同窓会

平成29年3月8日(水)、伊都キャンパスを稲盛財団記念館において、国内外から31名にご出席いただき、九州大学同窓会連合会が総会を開催しました。

会長である久保総長の進行により、役員の交代、平成29年度の事業計画および収支予算案等について審議されたほか、九州大学カードや古本募金などの新しい取組が報告されました。

引き続き開催された懇親会では、藏原一郎副会長(愛媛同窓会会長、昭和29年・医学部卒)の乾杯ご発声の後、出席者は和気あいあいと歓談しました。

閉会前には、男声合唱団コールアカデミーによって新録された音源に合わせて学生歌「松原に」を合唱し、収録に尽力された杉哲男幹事(東京同窓会理事・事務局長、昭和43年・経済学部卒)から挨拶がありました。



出席者全員での集合写真

九州大学同窓会連合会事務局(事務局総務部同窓生・基金課内)
(連絡先)TEL: 092-802-2156 FAX: 092-802-2149 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp
(関連Webサイト)<http://doso-rengo.jimu.kyushu-u.ac.jp/>



2大会連続3度目の優勝!

ジャカルタおよびその近郊の在住のOBにて、半年に一度、旧帝國大学7校が参加する七帝戦ゴルフが開催されています。わが九大は、記念すべき第1回大会と平成28年9月に行われた第8回大会で優勝を経験し、平成29年3月に行われた第9回大会において2連覇に挑みました。

九大は前回優勝の立役者の一人、大屋敦志ゴルフ部長(平成16年・工学部卒)をけがで欠く布陣ながらも、各参加者が着実にスコアをまとめ、2大会連続3度目の優勝を果たしました。吉武力応援団長(昭和45年・法学部卒)の渾身のエールのもと、学生歌「松原に」を歌い上げ、喜びをかみしめました。

縁あって南の地に集った同窓メンバーで交流する時間は、老若男女問わず貴重な機会となっています。「にあがりもん」の多いインドネシア九大OB会は、七帝戦ゴルフ大会で3連覇を目指すとともに、今後も友好関係を深めつつ、元気に活動してまいります!

東山 陽介(平成14年・農学部卒)
(連絡先)E-mail:viayos25@gmail.com



九州大学総合研究博物館
Kyushu University Museum

MUSEUM REPORT VOL.9 / 剥製

九州大学総合研究博物館の収蔵資料

糸島の大型哺乳類



キツネ(ホンドギツネ)



テン(ホンドテン)

九州大学にはさまざまな研究資料がありますが、意外なことに哺乳類の「本剥製」というものはほとんどありませんでした。「本剥製」とは、死んだ哺乳類や鳥類の形を生きているかのように整えたものです。「仮剥製」というものもあり、これは純粋に研究資料として、死んだ動物の皮に綿や紙を詰めて簡単に乾燥させたもので、本学にも収蔵があります。しかし、展示や教育を行う面では審美的観点、その動物本来の姿を再現しているという点において、圧倒的に「本剥製」のほうが有用です。

本学が伊都キャンパスへ移転するにあたり、その周辺の自然に開発の手が及ぶことになり、多くの野生生物の生息地が失われました。その上に本学の運営が成り立つている以上、私たちは先住者たる本来そこに住んでいた動物の存在を知つておいてもよいと思います。そこで、先述のとおり本学に本剥製資料がほとんどないという点も鑑み、糸島周辺の大型哺乳類や鳥類の標本を展示用に収集することになりました。平成24年と平成25年の2カ年、糸島周辺の獵師さんたちや哺乳類を研究する学生さんたちに声をかけ、害獸駆除個体やれき死体の収集により、すぐに代表的な大型哺乳類を集めることができました。

私はとつては、苦労して集めたことと、少し前まで生きていた様子を見ているので、どの剥製もとても大事な存在です。目玉をひとつあげるとしたら、キツネ(ホンドギツネ)です。非常に大きくて立派な個体で、神々しささえ感じます。



イノシシ(ニホンイノシシ)

剥製制作業
から京都の
保存し、それ
で一時的に

集められた死体は当館の冷凍庫で、丸山宗利准教授（九州大学総合研究博物館）

2018年新設「共創学部」(設置申請中)も開催!

九州大学オープンキャンパス2017を開催

九州大学の4つのキャンパスにおいて、共創学部(設置申請中)を含む12学部と基幹教育院(初年次教育)等のオープンキャンパスを開催。教授の講話や研究室、ゼミの見学など大学生活をより具体的に思い描くきっかけにしてください。当日は現役九大生や教授に直接質問できるコーナーも設けます。



伊都キャンパス



箱崎キャンパス



大橋キャンパス



病院キャンパス

8.5 (土)

箱崎キャンパス

文学部、教育学部、法学部、経済学部

8.6 (日)

伊都キャンパス

理学部、工学部、共創学部(設置申請中)、基幹教育院

箱崎キャンパス

農学部

大橋キャンパス

芸術工学部

8.7 (月)

病院キャンパス

医学部、歯学部、薬学部

●対象者:九州大学への進学を検討、希望する高校生・既卒者、高等学校教諭

※PC・スマートフォン・携帯からのインターネットによる事前申し込みが必要です。※詳細はWebサイトをご覧ください。

●お問い合わせ:九州大学学務部入試課 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

TEL:092-642-4488 FAX:092-642-4485 E-mail:aojimu@jimu.kyushu-u.ac.jp

Webサイト:<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/opencampus/>



住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。

九州大学広報室 TEL:092-802-2130 E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会 TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会 TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp